

## 日本語教材研究

2単位 (選択) 2年 (後期)  
大石 寧子・教授 / 国際センター

【授業目的】実際の教室等で学生を対象に日本語教育の実習を行う。効果的な教授法やクラス運営を体験的に学ぶ。

【授業概要】日本語教育の教材研究を含めた演習

【キーワード】教材, リソース, プロジェクトワーク, 異文化理解, 評価

【先行科目】『日本語教授法 I』(1.0), 『日本語教育方法論 I』(1.0), 『日本語教育方法論 II』(1.0)

【履修上の注意】学生のレベルや人数などの状況により、授業内容や計画が変更される場合があります。

【到達目標】既にあるいは現在学んでいる理論や教授法などを復習しながら、どのように日本語の授業を組み立てた運営していくかを検討する。実際に教室で日本語を教える経験を通して、日本語教師に必要な知識や経験を得る。授業の前に練習を行い、授業後にクラスを振り返り、効果的な授業やクラス運営について考える。

### 【授業計画】

1. ガイダンス
2. 教案の作成 (1)
3. 教案の作成 (2)
4. 教材研究&実習計画
5. 日本語教育実習 1
6. 日本語教育実習 2
7. 日本語教育実習 3
8. 日本語教育実習 4
9. 日本語教育実習 5
10. 日本語教育実習 6
11. 日本語教育実習 7
12. 日本語教育実習 8
13. 日本語教育実習 9
14. 日本語教育実習 10
15. 日本語教育実習 11
16. 振り返りとまとめ

【成績評価】本授業の成績評価は、出席・授業への取り組み、教案の作成、実習の内容などを総合して行う。

【再試験】無

【教科書】授業中適宜提示する。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218925>

### 【連絡先】

⇒ 大石 寧子(国際センター 088-656-9875 oishi@isc.tokushima-u.ac.jp)